

企画展
復刻版で体感！

歌麿・写楽の

キラキラの魅力



同時
開催

版元アダチ版画研究所の仕事
浮世絵の復刻から現代アートまで

会期延長！

2025 10/21(火) ~ 11/22(土)

入場
無料

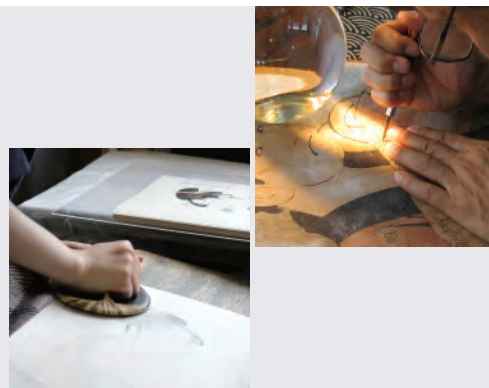
会場 アダチ伝統木版画技術保存財団 [常設展示場] (東京・目白)

主催 公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

共催 株式会社アダチ版画研究所

浮世絵版画は、絵師、彫師、摺師の分業で作られます。そして三者をまとめ、企画から販売までを総合的にプロデュースする重要な役割を担っていたのが「版元」です。中でも「浮世絵の黄金期」の立役者となった代表的な版元が、2025年のNHKの大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢晰～」で注目を集める蔦屋重三郎です。喜多川歌麿の美人画や東洲斎写楽の役者絵など、蔦重が世に送り出した浮世絵は、今なお我々を惹きつけてやみません。

このたび当財団では、彫師・摺師を抱える現代の版元・アダチ版画研究所(大河ドラマに撮影協力)と共催で、制作の視点から、歌麿・写楽の浮世絵の創意工夫を探る展覧会を開催いたします。



歌麿・写楽を見出した蔦重の仕掛け キラキラと輝く背景

歌麿・写楽を見出し、その手腕で彼らを人気絵師へと押し上げた蔦重。彼らの作品を大きく特徴づけたのが、評判の美人や人気役者を際立たせる、キラキラと輝く背景です。本展では、蔦屋版のキラキラの背景を、復刻版の展示とともに解説いたします。復刻版だからこそ楽しめる摺りたての色鮮やかさや、美しいきらめきを、ぜひ間近でご堪能ください。

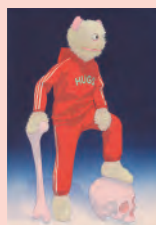
浮世絵制作の舞台裏

江戸の豊かな出版文化を支えたのが、職人たちの木版制作の技術です。写楽の代表作「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」の制作工程、版木や道具などの資料をまじえ、浮世絵の制作技法についてご紹介します。



同時開催 版元 アダチ版画研究所の仕事 浮世絵の復刻から現代アートまで

アダチ版画研究所は、木版画制作を行う版元として、昭和3年(1928年)頃に創業しました。これまでに、北斎や広重の名作を含む1200点以上の復刻版を出版し、現代のアーティストとのコラボレーションによる「現代の浮世絵」も手がけています。江戸時代から受け継がれる伝統木版画の技術を未来へとつなぐアダチ版画の歩みを、作品展示とともにご覧ください。



©Alex Dodge



©Keiichi Tanaami

EVENT ギャラリートーク(全6回)

スタッフが展示内容を解説するほか、イベント時限定で、NHKの大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢晰～」で撮影に使用された版木を特別公開いたします。

〈実施日程〉

- ① 10月24日(金) 11:00～
- ② 11月 1日(土) 11:00～
- ③ 11月 1日(土) 14:00～
- ④ 11月 5日(水) 11:00～
- ⑤ 11月15日(土) 11:00～
- ⑥ 11月15日(土) 14:00～

申込方法: 10月1日(水)より、
メール・お電話にて受付いたします。

企画展・イベントの詳細はこちら ▶



公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団 [常設展示場]

会場: 東京都新宿区下落合3-13-17
入場料: 無料
開館時間: 火～金 午前10時～午後6時
土 午前10時～午後5時
日曜・月曜・祝祭日 休館

お問い合わせ: TEL 03-3951-1267
Email adachi@adachi-hanga.com

アクセス: ① JR山手線「目白駅」徒歩 13分
② 都バス白61系統(練馬車庫前～新宿駅西口)
「下落合3丁目バス停」徒歩 5分
※駐車スペース有(1台分)

Webサイト
<https://foundation.adachi-hanga.com/>

